

「さくらの開花予想」発表回数等の変更について

1. 変更の内容

昨年のおくらの開花は、全国的に高温となり予想より大幅に早く経過しました。このような開花状況の変化に的確に対応するため、従来の2週間間隔の発表を毎週に改めます。

発表は以下を基本としますが、天候や開花などの状況によって、適宜、発表の開始や終了時期を1週間前後させたり、各地域を対象とした発表回数を増やします。

	新	旧	備 考
発表期間	3月第1週 ～4月第4週	3月初め ～4月終わり	
発表間隔	毎週水曜日 但し、祝祭日に当たる 場合は火曜日	隔週、曜日不特定	週末に予想の利用が多いことから変更
発表回数	各地域毎3回 全体で計8回	各地域毎2回 全体で計5回	

2. 本年のおくらの開花予想発表予定

	発表日	対 象 地 域
第1回	3月 5日(水)	北陸、関東甲信、東海、近畿、中国、四国、九州
第2回	3月12日(水)	北陸、関東甲信、東海、近畿、中国、四国、九州
第3回	3月19日(水)	東北、北陸、関東甲信、東海、近畿、中国、四国、九州
第4回	3月26日(水)	東北
第5回	4月 2日(水)	東北
第6回	4月 9日(水)	北海道
第7回	4月16日(水)	北海道
第8回	4月23日(水)	北海道

3. その他

さくらの開花については、従来「花が数輪以上開いた状態となったとき」としていましたが、本年から全国的に「花が5～6輪開いた状態となったとき」とします。

問い合わせ先：観測部観測課 応用気象観測係

電話：(03)3212-8341(内線4228)

さくらの開花予想の解説

さくらは夏頃に翌春咲く花の元となる花芽を形成し、休眠に入ります。
 花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます。(休眠打破)
 花芽は休眠打破のあと温度の上昇とともに成長し開花します。
 さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに
 昨年秋からの気温経過と気温予報を当てはめて求めています。
 さくらの開花日には、特に2月3月の気温経過が大きく影響します。

